

この説明文書は、本剤とともに保管し、服用の際には、よくお読みください。

## 第②類医薬品

## ヒヤこどもかぜシロップS

総合かぜ薬

ヒヤこどもかぜシロップSは、発熱やのどの痛みなどのかぜの諸症状を緩和する総合かぜ薬です。3か月以上7才未満のお子さま用に開発されたシロップ剤で、以下のような特長があります。

- ・ノンシュガー（キシリトール使用）
- ・ノンカフェイン
- ・のみやすいイチゴ味
- ・無着色
- ・安全キャップ採用

お子さまのかぜはこじらすとよくありませんので、早めの手当てが必要です。また、いつもより水分が失われますので、適切な水分の補給を心がけ、部屋の乾燥や、汗ばんだ着は取りかえるなどの環境面にも気を付けてあげましょう。

**使用上の注意** 本剤は小児用ですが、かぜ薬として定められた一般的な注意事項を記載しています。

**してはいけないこと**（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。）

- 次の人は服用しないでください。
  - (1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - (2)本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。  
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。（眠気等があらわれることがあります。）
- 服用前後は飲酒しないでください。 **\*5. 過量服用・長期連用しないでください。**



## 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
  - (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。
  - (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - (3)授乳中の人。
  - (4)高齢者。
  - (5)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - (6)次の症状のある人。……高熱、排尿困難
  - (7)次の診断を受けた人。……甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

| 関係部位 | 症 状         | 関係部位  | 症 状  |
|------|-------------|-------|------|
| 皮膚   | 発疹・発赤、かゆみ   | 精神神経系 | めまい  |
| 消化器  | 吐き気・嘔吐、食欲不振 | 泌尿器   | 排尿困難 |
| その他  | 過度の体温低下     |       |      |

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

| 症状の名称                                                                  | 症 状                                                                                                                                                       |
|------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ショック(アナフィラキシー)                                                         | 服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。                                                                                               |
| 皮膚粘膜眼症候群(ステevens・ジョンソン症候群)、<br>中毒性表皮壊死融解症、<br>急性汎発性発疹性膿疱症<br>薬剤性過敏症症候群 | 高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。<br>皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。 |
| 肝機能障害                                                                  | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。                                                                                                         |
| 腎障害                                                                    | 発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。                                                                                                           |
| 間質性肺炎                                                                  | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。                                                                                        |
| ぜんそく                                                                   | 息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。                                                                                                                         |
| 再生不良性貧血                                                                | 青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。                                                                                         |
| 無顆粒球症                                                                  | 突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。                                                                                                                                   |

(裏面に続く)

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。……□のかわき、眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

## 効能・効果

かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

## 成分・分量 (48mL中)

| 成 分                          | 分量    | 作 用                                       | 効能・効果                      |
|------------------------------|-------|-------------------------------------------|----------------------------|
| アセトアミノフェン<br>(解熱鎮痛剤)         | 300mg | 熱を下げるとともに、寒気をおさえ、頭痛やのどの痛み、筋肉の痛みなどをやわらげます。 | 悪寒、発熱、のどの痛み、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み |
| クロルフェニラミンマレイン酸塩<br>(抗ヒスタミン剤) | 2.5mg | くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどのアレルギー症状をおさえます。             | 鼻水、鼻づまり、くしゃみ               |
| dl-メチルエフェドリン塩酸塩<br>(気管支拡張剤)  | 20mg  | 交感神経に作用し気管支を広げ、呼吸を楽にさせてせきをしずめます。          | せき、たん                      |

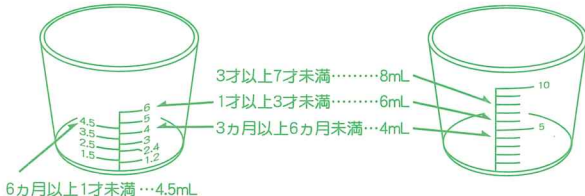
添加物：キシリトール、還元麦芽糖水アム、塩化Na、クエン酸、クエン酸Na、サッカリンNa、安息香酸Na、パラベン、プロピレングリコール、香料

## 用法・用量

| 年 令  | 3才以上7才未満 | 1才以上3才未満 | 6か月以上1才未満 | 3か月以上6か月未満 | 3か月未満   |
|------|----------|----------|-----------|------------|---------|
| 1 回量 | 8mL      | 6mL      | 4.5mL     | 4mL        | 服用しないこと |

1日3回毎食後及び必要な場合には就寝前に服用してください。また、1日6回まで服用してもさしつかえありませんが、その場合には約4時間の間隔をあけてください。

添付の目盛り付きカップで量をはかり、服用してください。使用後のカップはよく水洗いし、本剤とともに清潔に保管してください。



## <用法・用量に関連する注意>

- (1)定められた用法及び用量をお守りください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3)2才未満の乳幼児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させてください。

## 保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)誤用をさけ、品質を保持するため、他の容器に入れ替えないでください。
- (4)使用期限をすぎた製品は服用しないでください。
- (5)いったん開栓した後は、品質保持の点から長期保存しないでください。

●お問い合わせは樋屋奇応丸株式会社〈発売元〉まで  
お客様相談室 電話：072-871-2990

〒574-0014 大阪府大東市寺川3-3-63

受付：月～金曜日(祝日を除く)9:00～17:30

樋屋奇応丸ホームページアドレス <https://hiyakiogan.co.jp>



樋屋奇応丸株式会社  
〒530-0043 大阪市北区天満1-4-11

〈製造販売元〉 萬金薬品工業株式会社  
〒634-0145 奈良県高市郡明日香村野口317